

協会では12年ぶりの「ホームヘルパー2級養成研修」を開催しています。

既に終了した第1期、10月に開講の第2期とも募集早々に定員に達する活況を見せ、来年1月の最終開講分にも数多くのお申し込みとお問い合わせがあり、福祉に対する「思い」に、応える側の責任の重さと、同時にうれしさを感じています。

ベテラン職員を講師陣に配し、「力」に頼らない「腰痛」のない、お客様・介助者双方にとってどちらにも優しい「安全で安楽」な介護をモットーとする協会の介護技術演習の授業の一コマをご紹介します。

この研修生全員が協会にヘルパー登録するシステムではありませんが、熱い思いをもってここにいる一人が、近い将来お客様のそばにいるにいたるかもしれません。



ホームヘルパー2級養成研修 フォトリポート



重心の移動を実感



座位の姿勢チェック



段差 研修室にて



段差 横浜公園にて



スロープ 横浜公園にて



講師 実演



更衣 肩の位置決め

定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの「訪問介護看護かなざわ」「訪問介護看護つるみ」オープン!

10月1日(月)に、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを提供する、協会で二つの事業所を新設しました。

〔訪問介護看護かなざわ〕

住所：〒236-0021 金沢区泥亀1-17-15

大西第3ビル2階

電話：045-780-5135 FAX：045-780-5138

〔訪問介護看護つるみ〕

住所：〒230-0048 鶴見区本町通4-169-5

コーポマーサ1階

電話：045-510-4390 FAX：045-510-4393

“いざ”に備えてお試ください 災害用伝言ダイヤル「171」

阪神・淡路大震災、新潟中越沖地震、東日本大震災と立て続けに想像を超える自然の猛威にさらされた日本。特に昨年は原発事故の二次被害も起こり、「未曾有」を実感せざるを得ない状況に世界中がおののきました。昨今の報道でも「南海トラフ」が盛んに取りあげられています。いたずらに不安をあおるわけではありませんが、被害を最小限にとどめる努力は最大限に払う必要があります。

まず「防災用品の備え」に気持ちが向かうと思います。自分自身や家族を守るために「もの(物質)」をそろえる。この準備はお済みですか。今年は計画停電が回避され、横浜の街のあかりも以前と変わらない明るさで光り、震災直後の危機意識が薄れてきている気がします。備えた「もの」の安心感に加えて今一度「気持ち」に活を入れてみてはいかがでしょうか。

そこで毎月の1日と15日*に試すことができるNTTの災害用伝言ダイヤルの体験利用をお勧めします。

*このほかの体験利用日 正月三が日・防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00・防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

時間の表記がないものは0:00~24:00 利用料金は通話料金のみ

災害用伝言ダイヤル「171」は被災地で自宅電話番号をキーにして居場所や安否等の伝言を録音して、家族や知人に状況を伝える連絡手段です。通常は震度6弱以上の災害時しか使えませんが、体験利用日にぜひ試してみてください。音声で手順が示されるので、操作方法をメモしたり覚えておく必要はありません。ご家族やご友人とで実際にやってみて、簡単ねと感じていただければ十分です。「知っている」と「やったことがある」の相乗効果をどうぞ体感してください。

【使い方】〈録音する場合〉

171をダイヤルする



1をダイヤルする(音声で示してくれる)



045□□□□□□□□(市外局番から)

30秒間 吹き込む

【使い方】〈再生する場合〉

171をダイヤルする



2をダイヤルする(音声で示してくれる)



045□□□□□□□□(市外局番から)

録音されたメッセージが流れる

大切な あなたの^いことを忘れて「171」^{ない}

と、覚えてください。繰り返しますが、操作方法は覚えておく必要はありません。